

平成29年度第4回南相馬市事務事業事前評価結果

1	事務事業名	人工透析診療事業	担当課	総合病院事務課・経営企画室
---	-------	----------	-----	---------------

事業の目的	対象	誰に、何に対して働きかけるのか ・南相馬市を含む相馬地域で人工透析が受けられず、地域外及び県外への通院を余儀なくされている患者等（待機患者）
	意図	対象がどのようになることがねらいなのか ・地域内の人工透析実施医療機関で今後新たに14名程度の受け入れが可能となる見込みであるため、現時点で不足する24名程度分の人工透析医療提供体制を整え、待機患者を解消する。
	結果	どのような結果をもたらすのか ・直面する地域の透析医療需要に対応することで、市民はもとより地域住民が健康で安心してくらすことができる地域の医療提供体制の構築につながる。

手 段	市立総合病院脳卒中センターのスペースを活用し、8台分の人工透析装置及びベッドを整備する。	事業費（千円）	平成29年度	65,000
			平成30年度	0
			平成31年度	0
			平成32年度	0
			平成33年度	0
			合 計	65,000

担当課による自己評価	必要性	市民ニーズはあるか ・相馬郡医師会調べで相馬地域の待機患者が38名、予備軍を含めるとさらに多いと想定され、市立総合病院で実施に向け検討するよう県から要請がある状況である。
	行政関与	市が積極的に関与すべき事業なのか ・地域内の他の医療機関では透析医療需要への緊急的な対応が困難であり、公立病院として対応する必要がある。
	有効性	どのような効果が期待されるか ・地域医療の緊急的な課題に直接成果が期待できる事業である。 ・現在、相馬地域には、今後人工透析が必要となると見込まれている腎機能が低下している患者がおよそ40名程度生じている状況。
	その他	優先性等 ・地域医療の緊急的な課題に早急に対応する必要がある。
	総合評価	必要性・有効性・優先性を認める。

委員会評価	総合評価	必要性・有効性・優先性を認める。
	付帯意見	なし。

対応方針	議会における予算成立後、計画に沿って事業を実施する。 （平成29年9月議会に予算計上）
------	--